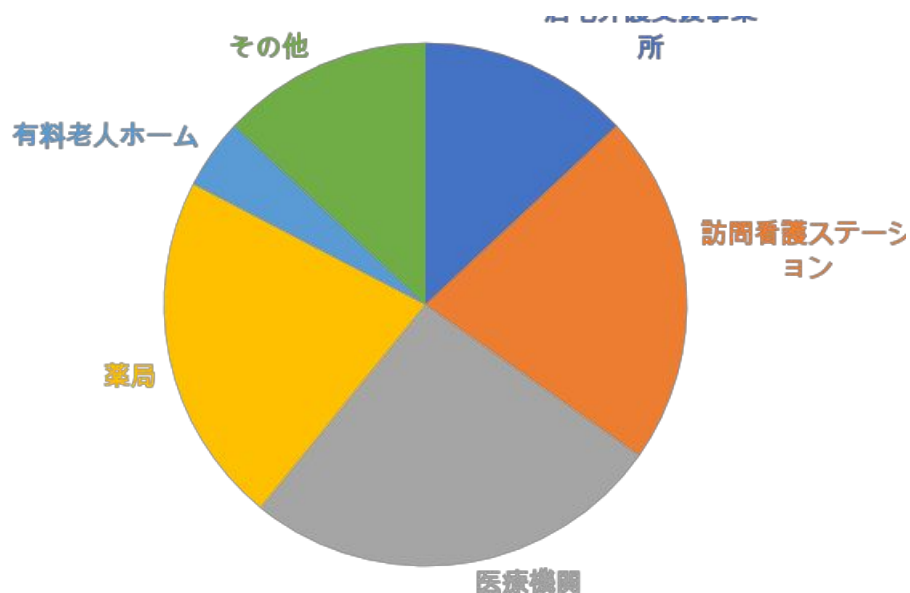


2018.10.05 OMC勉強会アンケート

Q1.あなたが所属する施設や機関について教えてください。



Q2.今日の勉強会の感想を率直にお聞かせ下さい

<内容について> 出席者全員が分かりやすかったと回答

<企画について> 出席者全員が勉強になったと回答

<10点満点で評価すると>

10点 75%、9点 20%、8点 5% でした

<上記点数の理由や、感想をお聞かせください>

- ・利用していた患者さんのケースを含めて元気になったり、笑顔になっていたり、QOLを高めるためにどうするかを考えていきたい
- ・在宅生活を支えるには、地域性がかなり影響すると再確認できた。
- ・特別なケアをしていなくても専門的なプロの集まりだったら、利用者さんも次第に表情が明るくなるのはすばらしいと思いました。
- ・とても面白かった、多職種連携の溝の件は常々感じています。
- ・地方ならではの医療トピックで都会とは違った話を聞くことができた、と思います。
- ・心温まるエピソードも交えて引き込まれる内容でした。

Q3,本日の勉強会に参加してどのようなことを学びましたか？

- ・老年医療に特化した話はあるそうでなかった。「年だからね」で終わってしまう医師もいる中で「老い」に注目することをどれだけの医療関係者が真剣に取り組んでいるか！！
- ・独居で生活している高齢者について病状変化があると施設入所と言ってしまう。でもケアに参加している多職種で集まって話し合う事が必要だと思いましたCMがではなく、誰でも良いので声を発することが必要なんだと思いました。
- ・初めて聞く話も多く、明日から臨床に役立つ内容があった。
- ・多職種連携とは言いながら、中央集権的な意思決定システムになっていたため、もっと積極的に参加していくことが重要だと思った。
- ・「最期をどこで迎えたいですか」と意向を確認するけれど「家がHPか」という表面的なことでした。それ以前にできること、伝えることがあり、場所でなく、チームで築き上げる結果を求めていく。
- ・チームアプローチが地方創生につながる手！！
- ・先生に診てもらえた方は幸せですね。
- ・老いることの本質を考えさせられる内容でした。困ったら集まれる関わり方を普段から心掛けないといけない、と気持ちが引き締まりました。

Q4.今後「こんなテーマを取り上げて欲しい」というご要望がございましたらお聞かせください

- ・成熟したケアチーム作りの秘訣
- ・老年医学と現在の医学との違いを知りたい
- ・難病患者を支える